第１問

a 1.商品回転率 2.売上高営業利益率（売上高販管費率でも OK）
b 1.　4.4 回 2.　24.24%
c 100 字
問題点は、担当者独自予想の仕入れにより、①売れ行きが悪い商品などが在庫として残り売上貢献ができておらず、また②商品の廃棄ロスや売れ行き好調商品の欠品による機会損失により収益を圧迫していること、である。

第２問
設問１
純粋戦略　　：ソフトクリーム販売
マキシマックス戦略　　：スープ販売
マクシミン戦略　　：マスコットグッズ販売

設問２
リスクが 19.68 万円と最も小さく、リターンが 30 万円の正となるマスコットグッズ販売施策を提案する。

設問３
損益分岐点売上高　80 万円
損益分岐点販売個数　1334 個
100 万利益のための販売個数　8000 個

問３

設問１
提案は、担当者の独自の予想に基づく仕入れから商品別販売情報を活用した仕入れに変更すること。

設問２
400*0.2*(L/2) = 10000*4000/L
1000 個
問３　口コミ=伝えたくなる＊伝わりやすい　売上=単価＊客数
口コミを促進させ客数増等による売上向上を図るため、観光物産を活用した料理体験イベントに参加した顧客の感想や風景写真などを HP に掲載していくことを提案する。

貸借対照表　　（単位：百万円）

	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)
現金及び預金	240	240
売上債権	50	50
商品	150	100
固定資産	10	20
資産合計	450	410
	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)
仕入債務	100	100
長期借入金	50	40
資本金	100	100
利益準備金	25	20
繰越利益剰余金	175	150
負債・純資産合計	450	410

（単位：百万円）

	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)
現金及び預金	240	240
売上債権	50	50
商品	(　　)	100
固定資産	10	20
資産合計	(　　)	410
	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)
仕入債務	100	100
長期借入金	50	40
資本金	100	100
利益準備金	25	20
繰越利益剰余金	(　　)	150
負債・純資産合計	(　　)	410

損益計算書　　（単位：百万円）

	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)
売上高	660	600
売上原価	300	290
売上総利益	360	310
販売費・一般管理費	200	150
営業利益	160	160
営業外収益	0	0
営業外費用	10	10
経常利益	150	150
特別利益	0	0
特別損失	0	0
税引前当期純利益	150	150
法人税等	60	60
当期純利益	90	90

（単位：百万円）

	平成26年度(予想)	平成25年度(実績)	
売上高	660	600	
売上原価	300	290	
売上総利益	360	310	
販売費・一般管理費	(　　)	(　　)	売上高販管費率は25%
営業利益	(　　)	(　　)	
営業外収益	0	0	
営業外費用	10	10	
経常利益	(　　)	(　　)	
特別利益	0	0	
特別損失	0	0	
税引前当期純利益	(　　)	(　　)	
法人税等	(　　)	(　　)	法人税は40%とする
当期純利益	(　　)	(　　)	

販売費・一般管理費の内訳　　（単位：百万円）

商品廃棄損	110	70
宣伝広告費	40	30
減価償却費	10	10
その他	40	40
合計	200	150

（単位：百万円）

商品廃棄損	(　　)	(　　)	平成26年度は平成25年度に比べて40百万円増加する
宣伝広告費	40	30	
減価償却費	10	10	
その他	40	40	
合計	(　　)	(　　)	

配当金を支払う予定である。
営業外費用は全て支払利息である。
固定資産の取得・売却はない。

配当金を支払う予定である。
営業外費用は全て支払利息である。
固定資産の取得・売却はない。

営業CF

税引前当期	150		
減価償却費	10		90 当期純利益
営業外費用	10	5　45	60 配当
商品増加額	−50		5 積立
小計	120		25 繰越
支払利息	−10		
支払法人税	−60		
営業CF	50		

財務CF　0

投資CF

長期借入金	10
支払配当金	−60
投資CF	−50